

報道関係各位

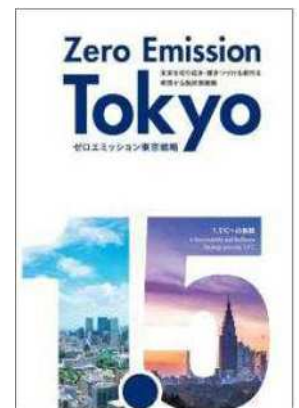
三菱地所レジデンス株式会社
株式会社メック eco ライフ

～東京都の「CO₂削減アクション・ムーブメント」取組み事業者に選定～
マンションのランニングコストを見える化した冊子
「マンション家計簿」にCO₂排出量を記載

三菱地所レジデンス株式会社（以下、三菱地所レジデンス）、株式会社メック eco ライフ（以下、メック eco ライフ）は、2020年12月24日（木）、東京都より、「CO₂削減アクション（ゼロエミアクション）・ムーブメント 消費者と企業がともにつくりあげるサステナブルな社会」事業者を選定されました。採択された取組は「マンション家計簿 CO₂排出量見える化へ」です。

東京都は、2050年にCO₂排出実質ゼロに貢献する「ゼロエミッション東京」を実現することを宣言し、2019年12月にその実現に向けたビジョンと具体的な取組・ロードマップをまとめた「ゼロエミッション東京戦略」を策定しました。

今回の公募は、「ゼロエミッション東京戦略」の実現に向け、SDGsの実現にも貢献する「CO₂削減アクション（ゼロエミッション）を推進する先導的取組」を東京都と協働して実施する事業者を選定するため行ったものです。公募の対象は「CO₂削減アクション（ゼロエミアクション）・ムーブメントの社会浸透に向けた具体的取組」で、効果検証を行いながら、2020年度から2022年度までの3か年程度取り組む事業です。



■採択された取組について

「マンション家計簿」 CO₂排出量見える化へ

提案者：三菱地所レジデンス、メック eco ライフ

内容：マンション販売時に「年間エネルギーコストやCO₂排出量」の目安を記載した資料を提示。

購入後のライフスタイルのアドバイスや、社としての更なる省エネ／省CO₂型建物の実現につなげていく。

三菱地所レジデンス、メック eco ライフでは、「CO₂削減アクション（ゼロエミアクション）・ムーブメントの社会浸透に向けた具体的取組」として、2021年4月よりマンションのランニングコストの見える化を図った冊子

「マンション家計簿」に1住戸ごとのCO₂排出量を記載する

取組を行います。今後3年目には、年平均3%のCO₂排出量削減を達成すべく、ZEH-Mの導入、再生可能エネルギーの導入等、CO₂排出量削減のための施策に取り組んでまいります。



▲「マンション家計簿」

■マンションのランニングコスト・CO₂排出量の見える化「マンション家計簿」

2013年、三菱地所レジデンスが分譲するマンションブランド「ザ・パークハウス」の環境性能を伝えるとともに、省エネ行動を喚起することを目的として制作した冊子で、マンション購入者に配布しており、すでに200物件以上の配布実績があります。

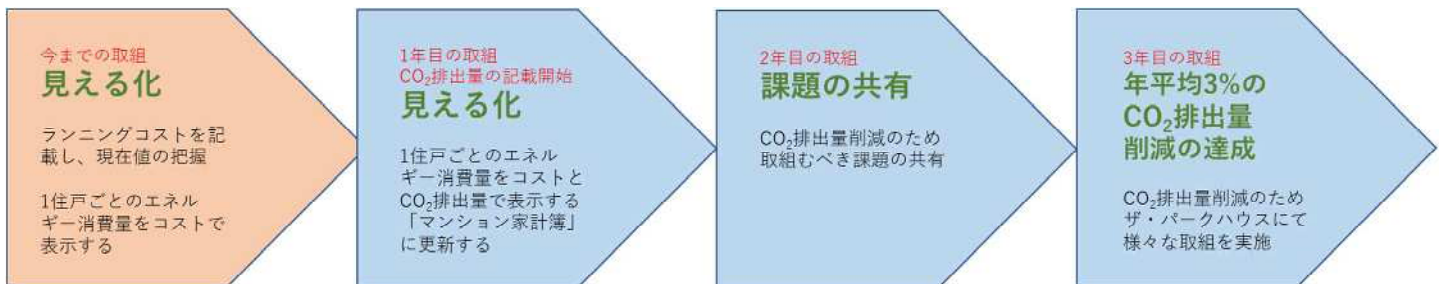
これまでマンション購入時にはわからなかった入居後の水道光熱費等のランニングコストを提示、省エネルギー性能をわかりやすく「円」で伝える、マンションの新しい評価軸を取り入れています。各住戸の年間の冷暖房費を算出し、購入検討者に提示して新たな検討材料としても役立てていただくものです。

今回の取組では、ランニングコストに加え、各住戸のCO₂排出量を記載して見える化し、CO₂排出量削減への意識向上を図ります。また、これを機に、三菱地所レジデンスでは、お客様への購入後のライフスタイルのアドバイスや、社内のものづくり改革を進める予定です。さらに、こうした取り組みを進めることにより、マンション業界でのSDGsの共有とCO₂排出量削減の推進につなげてまいります。



▲「マンション家計簿」

■3か年のロードマップ



三菱地所グループの長期経営計画 2030 では、「三菱地所グループの Sustainable Development Goals 2030」の重要テーマの一つとして「Environment（環境）：気候変動や環境課題に積極的に取り組む持続可能なまちづくり」を掲げており、CO₂排出量について、2030年には35%削減（2017年度比）を目指しています。

三菱地所レジデンスとメック eco ライフは連携を強め、三菱地所グループが定めるCO₂削減目標に向けた取り組みとして、今般「マンション家計簿」のリニューアルを行いCO₂削減量を記載しマンション購入者の意識向上につなげ、CO₂削減の社会への浸透を図ってまいります。

以上

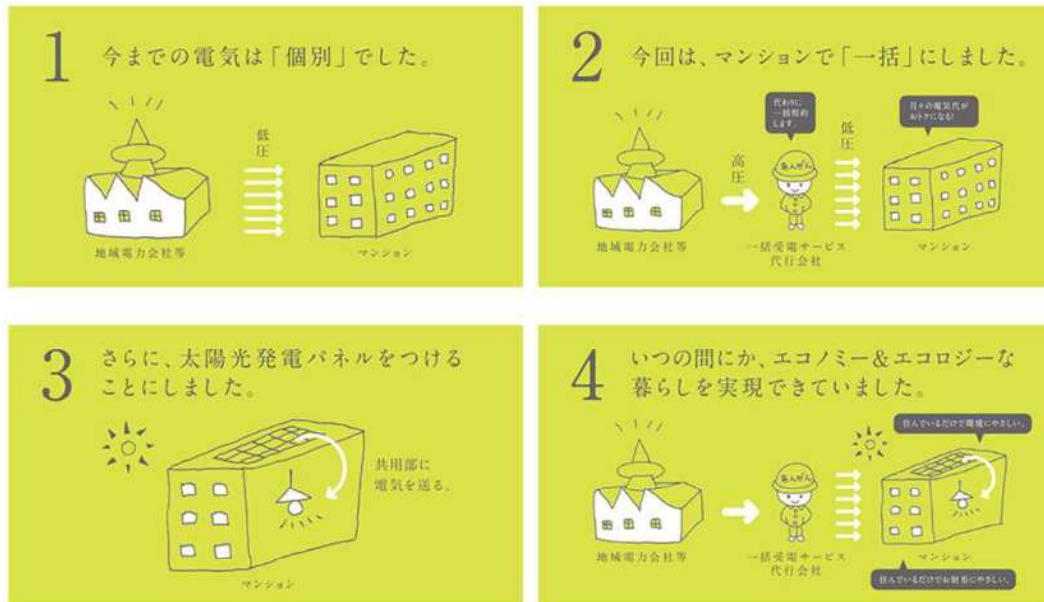


<参考>三菱地所レジデンスのこれまでのCO₂排出量削減のための取組

・太陽光発電と高圧一括受電システム「soleco（ソレッコ）」



「soleco」は、高圧一括受電と太陽光発電システムを組み合わせることにより、設備の導入費用を抑えながら、マンションの各家庭と共用部の電気代を削減する地球環境への配慮と経済性を両立させたエコシステムとして、メック eco ライフが 2009 年に開発しました。三菱地所レジデンスのザ・パークハウスでは、原則 40 戸以上の物件に導入しています。



・太陽光でお湯を沸かす ZEH-M スキーム「ソレイユ」



ZEH-M Ready は、4~5 階建てマンションの ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の基準で、太陽光発電など再生可能エネルギーの導入（創エネ）が必要となります。しかし集合住宅における太陽光発電の導入は従来 1 住戸 1 受電方式の契約しかなかったため、極めて困難でした。そこで一括受電を活用し、太陽光発電電力を分配する新しいエネルギーマネジメントシステムを構築。電力をお湯に変えて蓄エネルギーし、100%使いきる仕組みを構築することで、マンション全体で運用できることを実現。年間光熱費が電気・ガスよりも約 10 万円/年も削減できるようになりました。



・住戸ごとに快適・省エネな室内環境「新マンションエアロテック」

コンパクトな1台の室内機（住戸によっては2台）で、24時間365日、家中すみずみまで換気しながらきれいで快適な温度で満たす、全館空調システム「マンションエアロテック」を進化させた「新マンションエアロテック」では、床下空間を活用し、二重床下空間をダクトに代わる空気の経路としました。



「新マンションエアロテック」概念図